

事業概要（総括）

令和2年から続く新型コロナウイルス感染症も5類に移行し、令和5年度は観光客及びMICE開催に一定の回復が見られました。

このような状況を踏まえ、当協会では関係機関と連携しながら、新潟ならではの魅力あるコンテンツを活用した旅行誘客の推進、MICE開催支援の強化を継続して行うなど、交流人口の拡大に向け、関係機関・業界と連携して事業を実施しました。

令和5年度に取り組んだ三つの柱

1. 「食と花と酒」「みなとまち文化」「豪農文化」を活かした観光コンテンツの充実

関係機関と連携し地域資源を活用した観光コンテンツの充実を図り、観光資源を生かした着地型旅行商品や、古町芸妓を活用した団体および個人向け商品を企画・実施しました。

また、ポストコロナに適した観光スタイルを構築・推進し、国内外の需要喚起に取り組みました。

2. 都市の拠点性を活かした広域的な連携による国内外からの誘客

高速交通体系や結節点としての都市機能を活かし、海外誘客では他都市と連携した広域観光ルートの構築を継続し、インバウンド回復に向けた取り組みを進めました。

また、国内誘客では近県や首都圏、さらには定期航空路就航地を中心にセールス活動を行いました。

3. コンベンション関係機関やMICE支援策を活用した「MICE」誘致の推進

都市機能や開催環境の優位性をPRし、MICE支援策を活用しながら、誘致及び受入支援を行いました。

また、新潟市文化・スポーツコミッションでは、各種大会、合宿、イベント等の誘致に取り組みました。

公益目的事業

I 観光事業

59,029,459円

1. 観光PR事業

(1) 情報発信事業

4,364,631円

新潟市観光情報サイト「旅のしおり」及び、その外国語版である「Niigata City official Travel Guide」を運営・更新し、旬な観光情報の発信に努めた。特に「にいがた観光親善大使」等を活用したお勧めスポット・グルメ等の特集記事を30本以上掲載し、サイトの内容充実を図った。

また、インスタグラムにおいてもタイムリーかつ継続的な写真投稿により新潟市の魅力の発信に努めた。

- ・ユーザー数： 780,125 (前年度 727,223)
- ・表示回数： 1,560,621 (前年度1,449,604)
- ・インスタグラムフォロワー数：4,700人 (前年度 3,355人)

新潟市の観光に関する写真・画像データを専用ウェブサイト「新潟市観光フォトライブラリー」で公開し、新潟へのツアーを造成する旅行会社や各種メディア、印刷会社等に無料で貸し出すとともに、写真掲載による新潟市のアピールに努めた。

- ・フォトライブラリー貸出件数： 567件 (前年度 625件)

(2) 広告展開事業

1,211,600円

新潟市の観光の魅力を発信し、県内外からの誘客を促進するため、SNSやマスメディアへの広告出稿を行った。また、新潟の魅力を対外的にアピールするためプロモーション動画を制作するとともに、セールス等で配布するノベルティ等を作成した。

<広告関連>

- ・昭文社まっふる「新潟・佐渡 2023-2024」への広告掲載

<プロモーションツール作成>

- ・プロモーション動画制作
- ・新潟柳都古町芸妓2024年版カレンダー 200本

(3) にいがた観光親善大使派遣事業

3,579,722円

県内外での観光キャンペーンや新潟市で開催されるコンベンション等で新潟市の観光PRを行うため、「第14代にいがた観光親善大使」3名を選出した。新型コロナウイルスの影響により中止していたイベント・祭事が徐々に開催されるようになり、活動件数は、昨年度より増加した。

<選出事業>

応募者数：31人（女性：29人 男性：2人）（前年度 51人）

- ・予選会 実施日：令和5年7月1日（土）
会場：ANAクラウンプラザホテル新潟
- ・最終選考会 実施日：令和5年7月14日（金）
会場：ホテルイタリア軒

<派遣事業>

- ・活動件数：90件（前年度 86件）

（4）日本開港五都市観光交流事業

290,049円

日本開港五都市（函館・横浜・神戸・長崎・新潟）観光協議会に参加し連携を深めた。

<日本開港五都市観光協議会幹事会>

開催日：令和5年12月14日（木）

開催都市：函館市（函館ビヤホール）

<新潟まつり>

- ・にいがた観光親善大使による住吉行列への参加

2. 観光誘客事業

（1）食と花の交流プログラム推進事業

1,190,404円

オープントップバス「宙バス」、レトロなボンネットバスを活用した着地型旅行商品の企画に加わるとともに、みなとまち新潟市の観光資源や食、花、酒の魅力などを活かしたコース運行に対して協賛を行った。

<運行実績>

- ・運行月：令和5年5月～12月
- ・運行本数：16本
- ・乗車人数：349人（市内188人、県内120人、県外41人）

（2）みなとまち新潟観光推進事業

8,444,863円

新潟古町芸妓を観光資源と捉え、団体向け着地型プラン「新潟古町芸妓の舞鑑賞」、及び料亭・割烹での昼食と古町芸妓の舞鑑賞を組み合わせた「ランチ付新潟花街茶屋」に取り組み、各プランの企画販売を行った。

<実施実績>

年度	古町芸妓の舞（団体）				花街茶屋（個人）				
	参加者数	実施回数	国内	海外	参加者数	実施回数	市内	市外	海外
令和3年度	27人	1回	100%	0%	693人	34回	76.0%	24.0%	0%
令和4年度	591人	29回	79.3%	20.7%	629人	29回	58.7%	41.3%	0%
令和5年度	968人	43回	67.4%	32.6%	591人	20回	70.1%	27.8%	2.2%

（3）古町芸妓を活用した旅行商品造成事業

795,980円

国内外の観光誘客の促進、観光コンテンツとしての新潟古町芸妓の活用拡大、ナイトタイムエコノミーの醸成等を目的に、料亭等で新潟古町芸妓の舞と食事をセットにした旅行商品を造成・実施した旅行会社に対して、催行実績に応じて助成金を交付した。

- ・申請件数：22件（前年度：64件）
- ・助成（催行）件数：20件（前年度：48件）
- ・送客人数：643人（前年度：1,275人）

（4）国内プロモーション・セールス事業

438,866円

首都圏・近県の旅行会社に対し、「新潟市新しい観光スタイル推進協議会」による旅行会社への支援事業を活用しながら、旅行商品造成促進に取り組んだ。

また、新潟市・佐渡市・JR東日本新潟支社と協同して実施したJR秋の観光キャンペーンに伴い、JR駅構内で実施される産直市やツーリズムEXPO ジャパンに出展するほか、首都圏の旅行会社に向けての商談会を実施した。

その他、近隣市との連携事業として「新潟・阿賀エリア（新潟市・五泉市・阿賀野市・阿賀町）」のモデルコースを作成し、モニターツアーを実施した。

- ・首都圏商談会：リアル開催1回、オンライン開催1回
- ・近隣県商談会：1回（金沢）
- ・産直市出展：1回（JR上野駅）
- ・ツーリズムEXPO ジャパン商談会：1回
- ・新潟・阿賀エリアミーティング（研修会を含む）：3回

（5）国内航空路集客事業

1,239,130円

新潟空港と定期路線で結ばれている国内5都市からの誘客を図るため、「新しい観光スタイル推進協議会」の旅行会社支援制度を活用しながら県観光協会主催の観光商談会に参加するとともに、各地域の旅行会社へのセールス活動を実施した。

<新潟県観光協会商談会参加>

- ・名古屋商談会 : 1回

<空路誘客施策実施結果>

航空旅行商品新潟市宿泊報奨金

令和5年度	令和4年度	対前年度比	
		増減	比率
241人泊	5,392人泊	▲5,151人泊	4.5%

※R5年度の予算が大幅に縮小に伴い、人泊数は大幅に減となった。

(参考) 新潟空港利用状況

	令和5年度		令和4年度		対前年度比	
	利用者数 (人)	利用率 (%)	利用者数 (人)	利用率 (%)	増減 (人)	比率 (%)
札幌線	184,723	69.9	132,167	52.6	52,556	139.8
成田線	0	-	0	-	0	-
名古屋線	72,648	61.1	75,465	45.2	▲2,817	132.0
大阪線	566,161	71.7	438,304	55.2	127,857	129.2
神戸線	2,519	78.9	23,197	41.5	▲20,678	10.9
福岡線	123,823	77.2	98,178	62.8	25,645	126.1
沖縄線	48,962	60.9	34,526	50.1	14,436	141.8
臨時・チャーター	4,378	70.1	2,910	56.0	1,468	150.4
合計	1,003,214	70.5	804,747	53.7	198,467	124.7

<新潟・佐渡旅行商品奨励金>

国内定期路線を利用し、新潟市または佐渡市に宿泊する旅行商品に対し、広告宣伝費、パンフレット印刷費等の助成を行い旅行会社の商品造成促進を図った。

- ・令和5年度 : 5件 1,000,000円
- (前年度 : 5件 1,000,000円)

(6) 訪日外国人集客事業

4,088,796円

国のビジット・ジャパン事業や新潟県国際観光テーマ地区推進協議会事業、新潟市の誘客事業等と連携し現地セールスコールを実施し、旅行会社に新潟の拠点性や観光情報を提供し、旅行商品の企画造成を促進させるなど、外国人観光客入込客数、宿泊者の拡大を図った。

また、近年増加傾向にある FIT (海外個人旅行) への誘致活動の一環として、当協会の公式 Facebook アカウントを新たに作成し新潟市の観光情報やイベント情報を発信した。

<台湾およびタイ現地旅行博の出展およびセールスコールの実施>

新潟空港の国際線再開を見込み、県国際観光推進課および市観光推進課と共同で、台湾・タイで実施された旅行博に出展するとともに現地旅行会社へのセールスコールを実施した。

- ・台湾「日本東北遊楽日 in 台北 2023」の出展およびセールスコール
BtoB 商談件数 : 11 件
旅行会社訪問数 : 6 件
- ・台湾現地旅行会社セールスコール
実施回数 : 2 回 (9月・2月 実施)
旅行会社訪問数 : 10 件
- ・タイ「(株)日本旅行主催 ジャパン EXPO タイランド」への出展およびセールスコール
BtoB 商談件数 : 4 件

<Visit Japan トラベル & MICE マート出展>

大阪において開催された Visit Japan トラベル&MICE マートに出展し、欧・米・豪や台湾・タイなどの旅行会社と商談し、新潟市の旅行商品の企画造成の促進を行った。

- ・商談件数 : 40 件

<インバウンド向け公式 Facebook 情報発信>

近年増加傾向にある FIT (海外個人旅行) に向けての誘致活動として、公式 Facebook アカウントを活用し、新潟市を中心に観光情報やイベント情報などを発信し、新潟市のプロモーションを行った。

- ・投稿記事数 : 36 件 (令和5年4月1日~令和6年3月31日)
- ・フォロワー数 : 11,000 人 (令和6年3月27日時点)

(参考) 外国人延べ宿泊者数

年	令和5年(人)	令和4年(人)	対前年比(人・%)	
新潟市	76,289	14,890	61,399	512.4
新潟県	348,350	87,450	260,900	398.3

(参考) 新潟空港国際線利用状況

令和5年度は、新型コロナウイルスの5類移行や国際線定期路線の再開等により、対前年度比130.2%(244,936人増)と大幅に増加し、令和元年度以来の100万人を超えとなった。

<スキーバス運行補助事業>

新潟市に宿泊し、新潟県内の観光地を結ぶ貸切周遊バスの運行および新潟空港からのスキーバスの運営体制の整備、経費の一部助成を行い、韓国・台湾からの誘客増進を図った。

- ・新潟市人泊数 : 77 人泊

(7) 旅行商品造成報奨金交付事業

3,963,830円

外国人観光客の新潟市内宿泊誘致促進のため、台湾・韓国・中国・シンガポールからのツアーに対し、旅行商品造成報奨金を交付した。

<交付実績>

・台湾：2,207人泊、韓国：1,624人泊、中国：70人泊、シンガポール：22人泊

3. 観光客受入環境整備事業

(1) 新潟駅観光案内所等管理・運営事業

21,248,850円

JNTO認定カテゴリー2の観光案内所として、国内外のお客様に新潟市および広域エリアの観光情報を提供した。また、観光案内の充実や職員のスキルアップを目的とした新潟市内及び県内各地の視察・研修を行い、来訪者の受入れ態勢整備を図った。

<新潟駅万代口観光案内センター 案内実績>

	案内人数	対前年度比	
窓口	51,963人	+16,271人	145.6%
うち外国人	2,978人	+1,856人	265.4%
電話問い合わせ	888人	-41人	95.6%

<外国人案内実績>

国籍	案内人数	対前年度比	
1. 台湾	590人	+418人	343.0%
2. アメリカ	454人	+263人	237.7%
3. シンガポール	298人	+199人	301.0%
4. 中国	281人	+182人	283.8%
5. 香港	264人	+151人	233.6%
6. 韓国	194人	+138人	346.4%
7. オーストラリア	156人	+129人	577.8%
8. フランス	123人	+83人	307.5%
9. カナダ	73人	+52人	347.6%
10. タイ	72人	+44人	257.1%
その他51カ国	477人	+198人	171.0%
合計	2,982人	+1,857人	265.1%

<手ぶら観光サービス>

・配送数 20個（前年度 19個）

(2) 地域内連携推進事業

257,192円

賛助会員に向けて新潟市及び周辺地域の観光とコンベンションに関する情報の提供と、当協会の活動状況などを広報するための「賛助会員専用ウェブサイト」を運用し、賛助会員との積極的な交流に努めた。

また、賛助会員を対象とした研修会を開催し、観光関連事業者の研鑽と受入体制の更なる充実に努めた。

< 賛助会員セミナー開催 >

- ・開催日：令和5年3月6日（水）
- ・会 場：新潟グランドホテル
- ・テーマ：ChatGPT だけじゃない！今話題の生成 AI と事業への活用
- ・講 師：NTT 東日本ネットワーク 事業推進本部 担当課長 津曲 貴裕 氏
- ・参加者：約 50 人

(3) 地域魅力発見事業

753,668円

第 72 回新潟市観光写真コンクールを実施し、新潟市の観光振興に広く活用できる写真の募集・選出を行った。併せて入賞作品展を開催し、新潟市の観光魅力の周知を図った。

< コンクール概要 >

- ・応募人数：163人
- ・応募作品数：446点
- ・入賞作品数： 27

< 入賞作品展 >

- ・古町ルフル広場 展示期間：令和5年4月29日（土）～5月31日（水）
- ・新潟ふるさと村 展示期間：令和5年4月29日（土）～5月31日（水）

(4) 観光ガイドブック発行支援事業

1,600,000円

新潟市中心部の飲食店等を掲載した新潟シティ・グルメガイドブック「ようきなった」の作成に協力し必要部数を買取るとともに、コンベンション参加者や市内ホテル、関係各所へ配布し、来訪者への情報提供と地域内消費の促進に努めた。

(5) にいがた観光タクシー利用促進事業

35,090円

観光客に対するタクシーのサービス内容の向上を目的として、万代タクシー(株)、都タクシー(株)、第一タクシー(株)、三和第一交通(株)の4社とで協議会を組織し、乗務員の観光地の視察研修を実施するとともに、配布しているチラシをインバウンドでも利用できるよう案内に英文を追加するなどの改訂を行い作成した。

(6) 観光客おもてなし態勢整備事業

4,793,964円

新潟空港を利用する旅行者に対し、新潟市のプロモーションやおもてなし感の醸成を目的に、新潟空港内に大型 LED ビジョンを設置し、観光促進に繋がる映像を放映した。

<西堀大型バス駐車場 管理・運営>

- ・利用台数： 416 台（前年度 368 台）

<誘客イベント支援>

- ・食と花の世界フォーラム新潟
- ・にいがた総おどり
- ・佐渡世界遺産応援企画 SADO プライド
- ・CHIBI UNITY 世界大会優勝凱旋公演
- ・G7 財務大臣会合

1. コンベンション誘致事業

(1) コンベンションセールス事業

4, 072, 236円

地元新潟市内・県内学術機関(大学等)、県内各種団体支部への誘致活動、情報収集を行うとともに、首都圏へのコンベンション誘致セールス(延べ173箇所)を行った。

また地方都市コンベンション関連団体との合同ワークショップ及び合同セールスを行い、首都圏の主催者及び旅行エージェント等に対して新潟のコンベンション開催環境をPRするとともに、新潟開催をお願いした。

コロナ禍より継続している「新しいMICE誘致推進事業」をWEBサイトやセールス等で主催者に周知し、MICE開催情報の収集及び誘致活動を行った。

<地方都市コンベンション関連団体合同ワークショップ>

○第1回(新潟、松本、岐阜、びわこ、和歌山、高松、盛岡、郡山、宇都宮)

- ・期 日：令和5年7月25日(火)
- ・会 場：ホテルグランドアーク半蔵門
- ・参加学協会：18団体23名

○第2回(新潟、松本、岐阜、びわこ、和歌山、高松、郡山、宇都宮)

- ・期 日：令和5年11月21日(火)
- ・会 場：シンフォニークルーズ船内
- ・参加学協会：21団体42名

○第3回(新潟、松本、岐阜、びわこ、和歌山、高松、郡山、宇都宮)

- ・期 日：令和6年3月5日(火)
- ・会 場：ホテルグランドアーク半蔵門
- ・参加学協会：17団体32名

<東北地区コンベンション推進協議会>

東北地区のコンベンションビューロー(青森・弘前・八戸・秋田・横手・盛岡・仙台・気仙沼・山形・米沢・庄内・福島・郡山・会津若松・新潟・長岡・上越)で構成される協議会に参加し、新潟及び東北の連携を強化することとともに、コンベンション誘致・支援に係る情報交換、コンベンション開催情報収集を行った。また首都圏で開催された東北地区合同の商談会にブース出展し、首都圏のコンベンション主催者に新潟でのコンベンション開催をPRした。

○定例総会

- ・期 日：令和5年7月6日(木)～7日(金)
- ・会 場：アオーレ長岡

○職員研修会

- ・期 日：令和5年10月26日(木)～27日(金)
- ・会 場：アイーナ(いわて県民情報交流センター)

○東北地区MICE誘致商談会

- ・期 日：令和5年12月5日(火)
- ・会 場：都市センターホテル
- ・参加学協会：19団体31名

<キーパーソン招聘>

首都圏在住のコンベンション主催者を招請し、コンベンション施設・市内ホテル・観光施設などの視察を実施するとともに、開催補助金や各種支援制度を説明し、新潟開催を依頼した。

視察日：令和5年5月30日（火）、7月19日（水）
視察者：（一社）MDRT 日本会事務局、役員、委託業者 等
視察箇所：朱鷺メッセ、ホテル日航新潟
MICE 案件：第54回MDRT 日本会大会 in 新潟

視察日：令和5年9月11日（月）～12日（火）
視察者：（公社）有機合成化学協会、学習院大学、東京農工大学
視察箇所：アートホテル新潟、旧齋藤家別邸、今代司酒造、北方文化博物館
MICE 案件：第40回有機合成化学セミナー

視察日：令和6年2月14日（水）
視察者：日本監査役協会
視察箇所：ANA クラウンプラザホテル新潟
MICE 案件：監査役全国スタッフ会議

<訪日インセンティブ旅行誘致>

1. 日本政府観光局（JNTO）主催の「インセンティブ旅行商談会 in シンガポール」に参加し、各旅行会社へ新潟の PR を行うとともに、シンガポール市場からのツアー誘致に努めた。

JNTO インセンティブ旅行商談会、旅行会社セールス（シンガポール）

○旅行会社セールス

- ・期 日：令和5年8月30日（水）
- ・訪問件数：4社

○JNTO 商談会

- ・期 日：令和5年8月31日（木）
- ・商談件数：8社

2. Nippon Taiyo Hospitality LLP（NTH India）を通じたインセンティブ旅行誘致

世界1位の人口を誇り、今後訪日への大きな伸びが期待できるインドからの誘客を目的として、NTH India の担当者を招請し新潟の観光施設を視察いただくとともに、SNS やデジタル雑誌にて新潟市の観光及びMICEに関する情報発信を行った。

○招請事業

- ・期 日：令和5年7月11日（火）～13日（木）
- ・招請者：NTH India 担当者2名
- ・視察先：旧齋藤家別邸、新潟市マンガ・アニメ情報館、ぽんしゅ館、佐渡島等

○SNS、デジタル雑誌によるPR

- ・期 間：令和5年4月～令和5年12月
- ・情報発信回数：Facebook、Instagram 各24回
デジタル雑誌『RISE』 9回

<国際MICEエキスポ2024 出展>

主に海外や首都圏のMICE主催者との商談を目的とした「国際MICEエキスポ2024」に新潟県、朱鷺メッセとともに出展し、国際会議観光都市・新潟の開催環境をPRするとともに、MICEの誘致に努めた。

- ・期 日：令和6年2月15日（木）
- ・会 場：東京国際フォーラム
- ・商談件数：計17件
- ・主 催：日本コンGRES・コンベンション・ビューロー、日本政府観光局

<JCCB 総会及びコンベンションビューロー部会、中部コンベンション連絡協議会参加>

加盟し、参加することで観光庁の観光施策や他のコンベンションビューローの成功事例、学会開催等の情報収集や人脈づくり、コンベンションや観光に関するスキルアップや事業改革に繋がった。

○JCCB 総会

- ・期 日：令和5年6月26日（月）
- ・会 場：品川プリンスホテル

○中部コンベンション連絡協議会

- ・期 日：令和4年9月29日（木）～30日（金）
- ・会 場：ひだプラザ（高山市）

○JCCB ビューロー部会

第1回

- ・期 日：令和5年7月20日（木）～21日（金）
- ・会 場：琵琶湖ホテル（大津市）

第2回

- ・期 日：令和5年2月16日（金）
- ・会 場：コモレ四谷タワーコンファレンス

2. コンベンション開催支援事業

（1）MICE誘致推進事業

65,775,403円

新型コロナウイルス対策として拡充したコンベンション開催補助金制度を継続し、主催者の皆様への支援に力を入れるとともに、参加者の消費促進を図り、MICE開催の回復と地域経済の活性化に努めた。

<コンベンション開催実績>

	国内	国際	合計	対前年度比
開催件数	158件	14件	172件	+40件
参加人数	70,653人	24,999人	95,652人	+30,989人

<コンベンション開催補助金交付実績>

	補助金交付	対前年度比
交付件数	80件	+30件
交付額	64,546,114円	+36,827,314円

＜感染症対策支援＞

主催者に安心してコンベンションを開催してもらうために、コンベンション開催時の感染症予防対策に生じた費用を助成するとともに、AI サーマルカメラ等の予防機器の貸出を行った。

○感染症予防対策支援助成金交付実績

	助成金交付	対前年度比	
交付件数	4 件	-25 件	約 14%
交 付 額	868,477 円	-4,802,910 円	約 15%

○感染症予防対策物品貸出実績

	物品貸出	対前年度比	
貸出件数	3 件	-52 件	約 5%

(2) コンベンション開催準備資金貸付事業(Ⅱコンベンション事業に含まず) 0 円

新潟市で開催されるコンベンションの主催者に対し、その円滑な運営と成功に寄与するための開催準備に要する資金の貸付であるが、新規の貸付はなかった。

(3) コンベンション開催助成事業 1,484,264 円

コンベンション開催時の伝統芸能アトラクションに対する助成及び、新潟市内のエキスカカーションにおいて貸切バス・貸切タクシー・水上バスを利用する場合の助成を行い、伝統芸能のPRと活用、市内観光の促進を図った。

また昨年度に引き続き「コンベンションおもてなし助成金」の助成率および限度額の引き上げを行った。

- ・ 交付件数： 18 件(伝統芸能 9 件、エキスカカーション 9 件)
- ・ 交 付 額： 伝統芸能 961,000 円、エキスカカーション 523,264 円

(4) コンベンション開催支援事業 817,645 円

新潟市で開催されるコンベンションの主催者に対し、開催に必要な助言・サポート、及びコンgresバッグなどの提供を行い開催を支援した。

また、県外からの参加者が 200 人以上のコンベンションに対し、新潟駅、新潟空港に歓迎看板、歓迎サインエージを掲示するとともに、開催会場に「にいがた観光親善大使」を派遣し、歓迎挨拶や観光PRなどを行い参加者に対する歓迎機運の醸成を図った。

- ・ 歓迎サインエージ掲示件数： 116 件／にいがた観光親善大使派遣件数： 23 件

(5) その他 1,193,392 円

新潟市で開催されるコンベンションの開催情報を取りまとめ、コンベンション開催予定一覧表にして一般および賛助会員向けにWEBサイトで公開した。

また MICE 主催者及び県外参加者に対し、新潟での開催環境や消費額に関するアンケート調査を実施し、参加者による直接経済効果を測定した。

- ・参加者一人当たりの平均消費額：42,025 円
- ・令和 5 年度新潟市で開催された MICE（学会、大会・会議、競技会・コンクール）における参加者 95,652 人による直接経済効果（推計）
約 4,019,775,300 円

3. 文化・スポーツコミッション事業

(1) 大会等誘致推進事業

1,752,916 円

大会や合宿、イベント等の誘致のセールス活動や関係者の視察受入れを行った。

<関係団体へのセールス活動>

- 県内競技団体、文化団体へヒアリング、セールス活動（主に 5、6 月・11 月）
- 首都圏の中央競技団体、文化団体へヒアリング、セールス活動（5～3 月、58 団体訪問）
- 大規模展示会、イベント等への出展、ポスター・パンフレット設置
 - ・Japan Sports Weeks（6 月 28 日～29 日 東京ビッグサイト）
 - ・SPORTEC 2023（8 月 2 日～4 日 東京ビッグサイト ※ポスター、パンフ設置のみ）

<大会・合宿開催のための競技団体視察受入れ>

- 日本デフバスケットボール協会
 - ・男子チームリーダー、代表選手 各 1 名（3 月 15 日）

<大会が決まった大会・合宿等>

- ・ALL JAPAN JET SPORTS SERIES 2024 2nd STAGE（令和 6 年 5 月 9～12 日）
- ・関東ラグビー早明戦（令和 6 年 6 月 2 日）
- ・第 108 回日本陸上競技選手権大会（令和 6 年 6 月 27 日～30 日）
- ・第 42 回全日本レディースバドミントン選手権大会（令和 6 年 7 月 26 日～27 日）
- ・全国少年少女剣道優勝大会第 42 回全国高校生剣道優勝大会（令和 6 年 7 月 27 日～28 日）
- ・第 32 回全日本古希軟式野球大会（令和 6 年 10 月 11 日～16 日）
- ・第 18 回全日本学生選抜卓球選手権大会（令和 6 年 11 月 22 日～24 日）

(2) 受入支援事業

674,176 円

大会等の開催や合宿の実施に際し、受入の支援や歓迎ムードの醸成を行い、主催者や参加者が円滑に大会運営が出来ることで再度の開催に繋がるよう努めた。

<特に支援した大会・合宿>

- ・第 17 回全国中学生少林寺拳法大会
期 間：令和 5 年 8 月 18 日（金）～20 日（日）
参 加 者：1,314 人（うち県外参加者 1,024 人）
会 場 等：新潟市東総合スポーツセンター
支 援 内 容：にいがた観光親善大使派遣、会場での新潟観光 PR 等
- ・第 47 回全日本クラブ野球選手権大会
期 間：令和 5 年 9 月 2 日（土）～4 日（月）
参 加 者：815 人（うち県外 715 人）

会場等：HARD OFF ECO スタジアム新潟
支援内容：にいがた観光親善大使による始球式等

- ・第76回全日本合唱コンクール全国大会大学職場一般部門
期 間：令和5年11月25日（土）～26日（日）
参加者：1,722人（うち県外1,720人）
会場等：新潟市民芸術文化会館
支援内容：名産品・観光ブースの設置、ゆるキャラによる歓迎等

<支援大会・合宿数>

- ・令和5年度支援大会・合宿数87件 参加者数70,247人（うち県外20,747人）

(3) 誘客促進事業

1,975,458円

集客力のあるイベントをコンテンツとして誘客を促進するとともに、新潟市のPRを関係機関と連携して実施した。

<マラソン等誘客事業>

令和6年度シティマラソンにおける海外ランナー誘客を目的に、台湾の旅行会社を訪問し、ツアー造成と送客依頼のセールス活動を行った。

○台湾旅行会社セールス

- ・期 日：令和6年2月15日（木）～17日（土）
- ・訪 問：旅行会社/6社（うち5社がツアー造成を検討）

<Jリーグサポーター誘客事業>

アルビレックス新潟と連携し、Jリーグサポーターに向けた来訪促進活動を実施した。

- ・アウェイチームのサポーターを抽選で50人招待する取り組みを実施

令和5年 4月 15日（土）	対アビスパ福岡戦	申込総数 240人
令和5年 7月 7日（土）	対ヴィッセル神戸戦	申込総数 349人
令和5年 12月 3日（土）	対ロアッソ熊本戦	申込総数 497人

- ・アウェイサポーター向けに応援来訪時のモデルコースを作成し、ウェブサイトで公開。
コース：新潟駅→タレかつ井→イタリアン→マリニピア日本海→ビッグスワン→スタジアムグルメ→応援→宿泊（ホテル）→サイクリング（レンタサイクル）

<マンガ・アニメ・eスポーツ誘客事業>

マンガ・アニメ・eスポーツを活用した誘客や新潟のPRを行った。

○初音ミク「夜空」プロジェクトコラボ商品提案募集協力

新潟まつりの期間中、万代BP2でのオリジナル商品販売に併せたコラボ商品の制作・販売に向けて協力企業を紹介。

- ・内容：当協会賛助会員へ商品提案依頼。

○「新潟国際アニメーション映画祭 弐」開催協力

- ・期間：令和6年3月15日（金）～20日（水）
- ・内容：新潟市観光案内センターサイネージやSNS、WEBサイト等での広報協力。
関係機関との調整。

- 一般社団法人日本 e スポーツ連合新潟支部立ち上げの協力
e スポーツでの新潟市への誘客の加速化を図ることを目的として支部の立ち上げに協力。
 - ・内容：日本 e スポーツ連合と新潟市内関係機関との調整。

<武道ツーリズム推進事業>

スポーツ庁が 2018 年より重点テーマとして掲げている「外国人旅行者をターゲットとした武道ツーリズム」に連動し、新潟市においても誘客を図るコンテンツの一つとして構築することを目的として「空手稽古体験のモニターツアー」を実施した。

○空手稽古体験モニターツアー

- ・期 日：令和 5 年 10 月 29 日（日）
- ・会 場：土衛塾
- ・対 象：新潟市在住の 18 歳以上の外国人
- ・参加者：8 人

(4) 広報活動事業

0 円

文化・スポーツ Kommission ウェブサイトや Facebook、Twitter を運用し、開催される大会・イベント等の広報協力や、事業の PR を行った。

- ・ウェブサイト：表示回数 44,782 件
- ・Facebook：投稿 25 回、総インプレッション数 4,166 件
- ・X (旧 Twitter)：投稿 18 回、総インプレッション数 20,673 件

(5) その他

472,166 円

<事務費>

備品・消耗品類の購入、電話代、郵便料、コピー代等

1 理事会

第1回通常理事会（決算）

- ・期 日：令和5年6月7日（火）
- ・会 場：白山会館

第2回通常理事会（予算）

- ・期 日：令和6年3月26日（火）
- ・会 場：ホテルイタリア軒

2 評議員会

第1回評議員会（決算）

- ・期 日：令和5年6月22日（木）
- ・会 場：ホテルイタリア軒

第2回評議員会（予算）

- ・期 日：令和6年3月28日（木）
- ・会 場：ホテルイタリア軒

3 各団体加入負担

社団法人新潟県観光協会及び大都市観光協会連絡協議会、新潟県国際観光テーマ地区推進協議会などに加入し、引き続き情報収集を行うとともに、連携して対外宣伝と誘客に努めた。

4 事務局管理費

公益財団法人会計を適正に執行するため、引き続き税理士法人さくら総合会計と予算の執行管理、及び予算・決算等の資料作成にかかる業務契約を締結した。

5 新規加入賛助会員 当初会員数 〈団体会員〉 281 社

新規入会

〈団体会員〉 6社

- ・秋葉硝子
- ・株式会社ピーエイ
- ・株式会社だるまや
- ・株式会社シルバーホテル
- ・高野酒造株式会社
- ・株式会社丸伊

退 会

〈団体会員〉 6社

期末会員数

〈団体会員〉 283社